



宜野湾市でも成果を出してます!



松川市長とともに菅総理へ要請

普天間飛行場の一日も早い移転を実現すべく、宜野湾市の思いを胸に「必ずやるぞ!」と誓いつつ、松川市長と一緒に要請に歩いています。

松川正則市長と 総理官邸へ要請



現状の説明を受ける

現場で頑張っている職員やスタッフの皆さんから現在の状況や課題などをお聞きしました。
松川正則市長を先頭に皆さん懸命に対応しています。本当に頭が下がります。
厳しい状況ですが、県民一丸となってコロナ禍を乗り越えましょう。

宜野湾市立体育館の ワクチン集団接種会場を視察



松川市長から宜野湾市の現状をご説明

市役所から普天間飛行場を、FMぎのわんから西普天間住宅地区跡地を視察しました。
松川正則市長、和田敬悟副市長と一緒に、宜野湾市の実情を訴えるとともに、国の支援を求めました。

加藤勝信官房長官が 宜野湾市を視察



開通式でテープカット

普天間飛行場の一部返還を経て、多くの方のお力添えで開通に至りました。当時の安次富盛信市長の奥様美代さんが式典に参加されており、大変嬉しく思いました。ひとつの成果の後ろに多くの先人のご苦労がある。その歴史に敬意を払い、心を込めてテープカットしました。

市道宜野湾11号開通式

〔3〕沖縄復興
成長するアジアの玄関口に位置付けられるなど、沖縄の優位性と潜在力を活かす。日本のフロントランナーとして経済再生の牽引役となるよう、引き続き、国家戦略として、沖縄振興策を総合的・積極的に推進する。国家戦略特区の指定や那覇空港の滑走路増設も踏まえ、観光ビジネスの振興やイノベーション拠点の形成を図るとともに、沖縄科学技術大学院大学（OIST）の発展促進に向けた検討や、OIST等を核としたグローバルな知的・産業クラスターの形成の進展を図る。また、西普天間住宅地区について、関係省庁の連携体制を確立し、国際医療拠点構想の具体的な検討を進めた上で、同地区への琉球大学医学部及び琉球大学病院の移設など高度な医療機能の導入を軸とする駐留軍用地跡地の利用の推進を図る。

黄色の部分が該当部分です。

ここから琉大病院の移転等が、一気に加速化しました。当初設計の中、当初設計には入っていませんでしたが、追加の建設も追加できる早期完成を待ち望みます。



市議団と一緒に鈴木馨祐外務副大臣へ要請

宜野湾市議団が普天間飛行場の危険性を一刻も早く除去とキャンピングユワフへの移設促進を要請。
各議員から決断の思いや地元の実情が、夜間飛行中止を求める発言等が続きました。
私からは宜野湾市民を代表する議員が移設促進を議決した背景とその決断を政府は重く受けとめるよう強く迫りました。
市民の生命に関わることで、一刻も早く確実な普天間飛行場の危険性除去のため、引き続き行動していきます。

キャンピングユワフの 移設促進を要請

宜野湾市に琉球大学医学部と附属病院を移設するに当たって、市内業者の優先発注を実現するための勉強会を開催。これは地元の代議士として大切な仕事のひとつです。
今日までの負担がある以上、地元事業者の活用は当然実現すべきことです。



琉大移転の現状をご報告



佐喜真淳前市長と巨大な網の前で

宜野湾市大山大綱引き
網が生きているような迫力があり、大感動。
伝統が伝承され、この時代にまだまざと生きています。



大迫力のエイサーを間近で見学

宜野湾青年エイサー祭
その迫力に、地域を思う熱意に感動しました。
来年は開催できるよう、コロナ禍収束に全力を尽くします。

沖縄県庁の誘致と 国際医療拠点の実現を!

琉大移転完成イメージ図

また、西普天間跡地の国際医療拠点の早期形成を実現し、宜野湾が日本の、東アジアの最先端医療の「ねた」となるよう尽力します。

普天間跡地の国際医療拠点の早期形成を実現し、宜野湾が日本の、東アジアの最先端医療の「ねた」となるよう尽力します。

また、西普天間跡地の国際医療拠点の早期形成を実現し、宜野湾が日本の、東アジアの最先端医療の「ねた」となるよう尽力します。

また、西普天間跡地の国際医療拠点の早期形成を実現し、宜野湾が日本の、東アジアの最先端医療の「ねた」となるよう尽力します。

自民党沖縄第2選挙区支部長・衆議院議員

ニヤザキ政久 後援会

まさひさ

〒901-2211 宜野湾市宜野湾 1-1-1 2階
【TEL】 098-893-2955 【FAX】 098-988-3844

比例区 こうめい

金城泰邦 公明党沖縄県本部副幹事長を紹介します。

金城副幹事長は、故白保台一代議士の秘書を5年勤めた後、浦添市議会議員を2期勤め、その後沖縄県議会議員（浦添市）に選出されました。現在、更なる飛躍のため活動中です。